

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ルピナス教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46件	(回答者数) 32件
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6件	(回答者数) 6件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別活動と小集団活動の枠を設け、保護者様がどちらの枠も選択をしていただける様に対応をしている。	・個別活動と小集団活動それぞれにおけるお子様の様子や課題を探り支援内容に反映させようとしている。 ・個別活動で経験したことを小集団活動や園での生活に活かせるようつながりのある活動をしている。	保護者様からの聞き取りをもとに、園で実際におこなわれている取り組みを知り、より実践に近いプログラムを提供出来るよう検討していく。
2	日々の活動内容(プログラム)が固定化しない様に工夫をしている。	運動活動においては月毎に目的を決め、目的に適した活動をおこなっている。日替わり活動や週ごとに変わる活動など形態を変えながら、子ども達が様々なジャンルに挑戦し成功体験を増やしていけるようなプログラムを構築している。	保護者様のニーズを聞く事でニーズにあわせたプログラムが提供出来るように努めていく。
3	利用児の療育の様子や家庭での様子・保護者様の状況など様々な情報を職員間で共通理解が出来るよう、情報交換を心がけている。	職員間にて情報の共有は時間のある時に積極的におこなっている。申し送りノートを活用し次日の職員への情報提供を徹底している。	報告忘れや共通認識のズレなどもある為、朝礼で声に出して確認をしたり、視覚的にもわかりやすい様黒板に記載するなど徹底出来るように務めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員一人一人の療育力・専門性の向上など事業所全体で底上げが必要である。	個別活動や小集団活動においてはお父さまの様子に応じて臨機応変に支援プログラムを組み立てる力が必要な為、個々の経験や知識によって偏りが生じやすい。	・研修に参加できる機会を増やし強化を図っていく。 ・経験のある職員がフォローを行うなど職員間での情報共有を密におこないチーム全体で支援方向を検討していく事で質の向上を図っていく。
2	・保護者会や家族支援プログラムなどの未実施。 ・事業所と保護者様との交流機会が少ない。	保護者会や家族支援プログラムなどの未企画	保護者様同士の交流の場をもうけ、保護者様が気軽に足を運んでいただけるようなプログラムを提供していく。
3	非常災害時対策の周知が不十分である。	・非常災害時の対応・職員間での周知方策が不十分である。 ・訓練実施について見える化できていない。	定期的に避難・救出訓練をおこない、子ども達の安全を守る取り組みについても保護者様と共有できる形で発信していく。